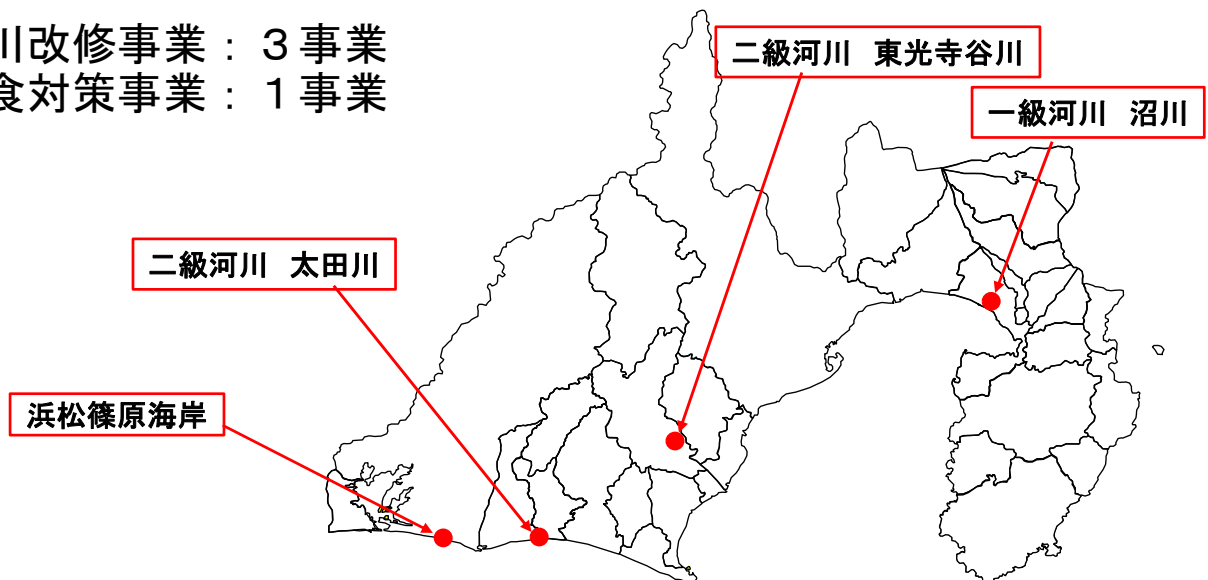


番号	5	令和8年度公共事業再評価調査				担当課名	河川海岸整備課																																
事業名	河川改修事業				事業主体	静岡県																																	
箇所名	にきゅうかせん おおた. がわ. かりゅうこうく 二級河川 太田川(下流工区)				関係市町	磐田市・袋井市																																	
事業採択年度	平成 14 年度			計画期間	平成14年度 ~ 令和15年度																																		
用地着手年度	平成 14 年度			工事着手年度	平成 14 年度																																		
再評価理由※	再評価実施(R3)後5年間が経過した時点で継続中																																						
全体事業費	百万円 16,860	投資状況 (百万円)	~R6年度 11,540	R7年度 137	R8年度見込 200	計 11,877																																	
事業概要	(1)事業目的 河道掘削等の河川改修により、河川整備計画に位置付けられた平成10年9月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、太田川流域の浸水被害の解消を図る。 (2)事業内容 施工延長： 4,000 m 河道掘削： 4,000 m																																						
【視点1】	(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 太田川流域では、区画整理等により宅地化の進展や、工場誘致や開発に伴う流出量の増加が懸念されることに加え、平成16年11月では床上浸水97戸、床下浸水341戸、平成26年10月洪水では床上浸水12戸、床下浸水75戸の被害が発生したことから、地元住民の工事に対する期待は大きく、本事業の整備メニューが重点対策流域を対象にした「水災害対策プラン」にも位置付けられるなど、早期の改修が望まれている。 (2)事業の投資効果 ○費用便益分析結果 (令和 8 年度時点) <table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>参考:B/C (i=2%)</td><td>参考:B/C (i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>12.9</td><td>15.6</td><td>17.5</td><td>64.1%</td></tr></table> ・総便益 (B) 528.69 億円 (被害軽減便益：524.32億円、残存価値便益：4.37億円) ・総費用 (C) 41.12 億円 (建設費：36.90億円、維持管理費：4.22億円) ○見込まれる効果(定性的な効果) ・住民の精神的負担の軽減と安心感の向上 ・地域経済と社会活動の安定 (3)事業の進捗状況 (令和 8 年度見込み) <table><tr><td colspan="2">区 分</td><td>進捗率</td><td colspan="2">内 訳</td></tr><tr><td colspan="2">事業費</td><td>70.4%</td><td colspan="2">(11,877 百万円 / 16,860 百万円)</td></tr><tr><td rowspan="2">事業量</td><td>河道掘削工</td><td>30.0%</td><td colspan="2">(1,200 m / 4,000 m)</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2">用地取得</td><td>100.0%</td><td colspan="2">(4,000 m² / 4,000 m²)</td></tr></table>							B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	12.9	15.6	17.5	64.1%	区 分		進捗率	内 訳		事業費		70.4%	(11,877 百万円 / 16,860 百万円)		事業量	河道掘削工	30.0%	(1,200 m / 4,000 m)						用地取得		100.0%	(4,000 m ² / 4,000 m ²)	
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																																				
12.9	15.6	17.5	64.1%																																				
区 分		進捗率	内 訳																																				
事業費		70.4%	(11,877 百万円 / 16,860 百万円)																																				
事業量	河道掘削工	30.0%	(1,200 m / 4,000 m)																																				
用地取得		100.0%	(4,000 m ² / 4,000 m ²)																																				
事業の必要性	評価 継続が妥当																																						
【視点2】	今後の事業の進捗の見込み 用地買収の必要も無いため、引き続き河道掘削を実施し、計画的な事業進捗に努めることで早期の効果発現を図る。																																						
	評価 継続が妥当																																						
【視点3】 新たなコスト削減・代替案立案等の可能性	河道掘削による発生土について、周辺の他工事に活用するなど、関係機関との連携してコスト削減を図り、今後も引き続き継続していく。																																						
対応方針(案)	(1)対応方針(案) 本事業を 【 継続 】 する。 (2)理由 本事業は、太田川流域の治水安全度を向上させ、浸水被害の解消を図るものである。費用対効果も見込まれ、住民の改修への期待は非常に大きく、地域の安全・安心に寄与することから、事業を継続して早期完成を図る。																																						

※「再評価理由」は、静岡県交通基盤部、くらし・環境部所管公共事業再評価実施要綱第2に規定する区分に従って記載する。

河川改修事業：3事業
浸食対策事業：1事業



番号	事業名	箇所名	代表事業
1	河川改修事業	二級河川東光寺谷川	
2	河川改修事業	二級河川太田川（下流工区）	○
3	河川改修事業	一級河川沼川	
4	浸食対策事業	浜松篠原海岸	

交通基盤部 河川砂防局 河川海岸整備課

1. 太田川位置図

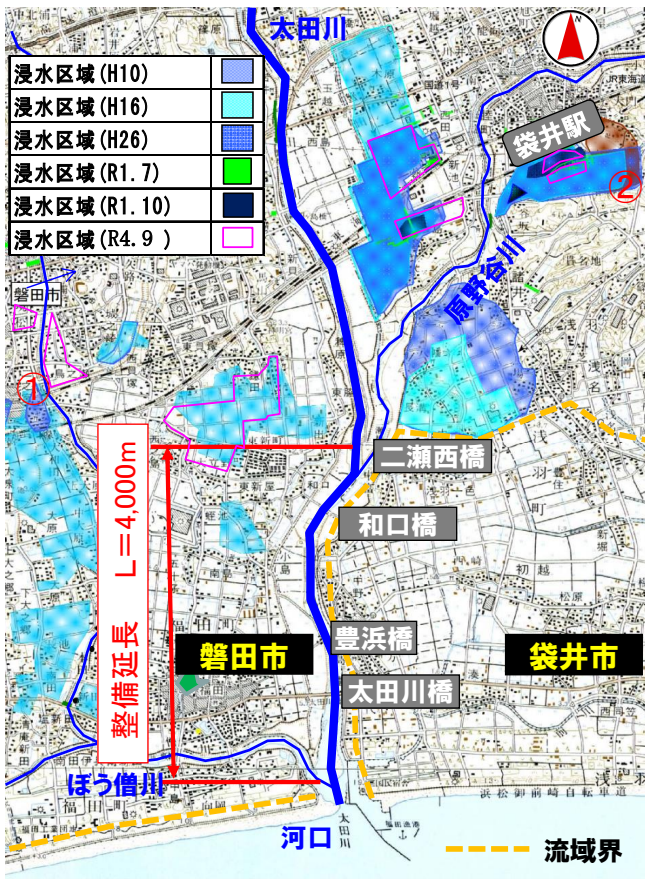


二級河川太田川	
流域面積	約 4 8 8 km ²
幹線流路延長	約 4 4 km



2. 事業概要

3



<事業目的>

河道掘削等の河川改修により、概ね10年に1回程度の降雨により発生する出水に対して、洪水による被害を生じさせないで流下させる。

<事業概要>

計画期間	平成14年～令和15年
全体事業費	169億円
投資状況	119億円 70% (R8年度末見込み)

① 令和4年9月23日台風15号
磐田市二之宮 (浸水状況)



② 令和4年9月23日台風15号
袋井駅南 (浸水状況)

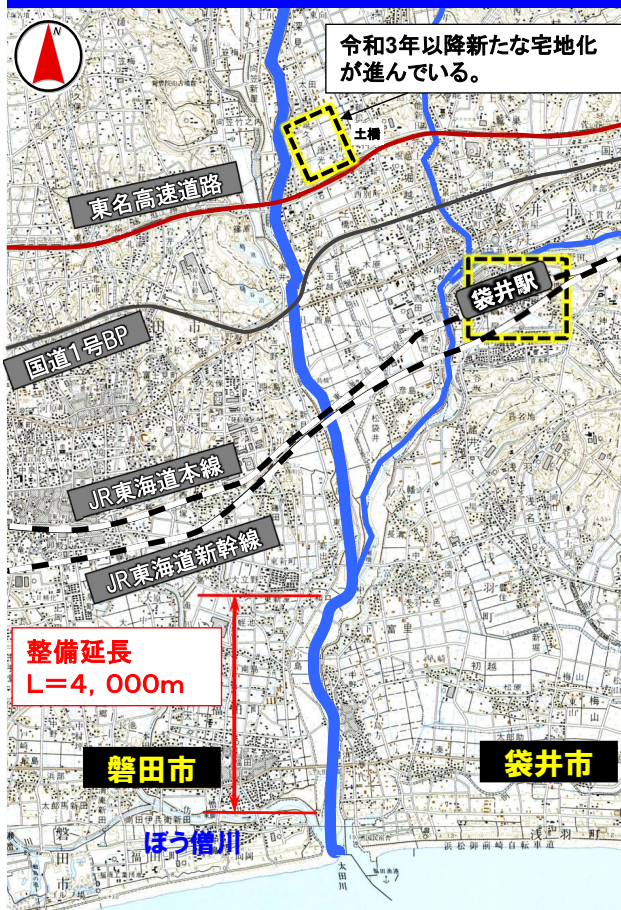


近年における浸水被害状況 (袋井・磐田市)

発生年月日	床上	床下	浸水面積 (ha)
H10.9.24	46	245	505
H16.11.12	97	341	804
H26.10.2	12	75	—
R1.7.22	42	2	—
R1.10.12	54	8	—
R4.9.23	329	309	199

3. 事業を巡る社会情勢等の変化

4



令和3年 袋井駅南都市拠点



令和6年 袋井駅南都市拠点

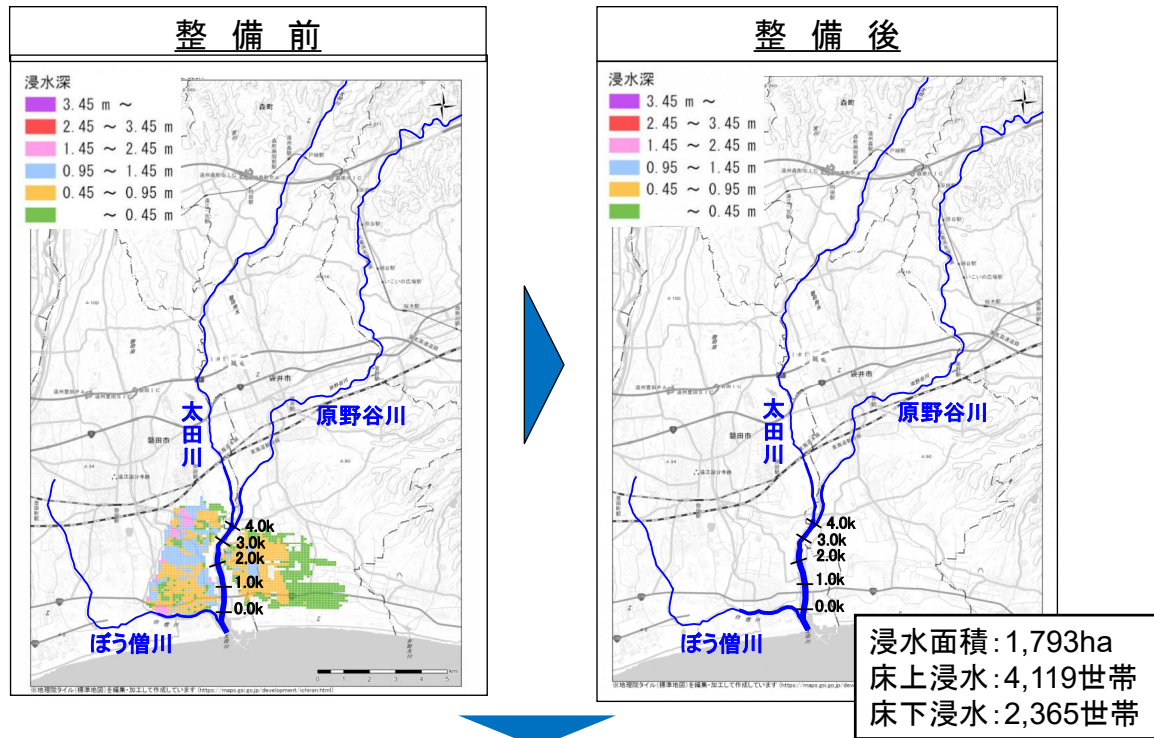


流域内では、新たな工場立地や土地区画整備事業による宅地化の進展が見込まれ、治水安全度の早期向上が望まれている。

4. 事業の必要性（事業の効果）

5

【整備目標規模（年超過確率1/10）洪水による氾濫シミュレーション結果】



本事業を実施することにより、太田川流域の浸水被害が解消される

4. 事業の必要性（事業の効果）

6

$$\text{費用便益比 (B/C)} = \frac{\text{被害軽減便益} + \text{施設の残存価値}}{\text{事業費} + \text{維持管理費}}$$

総費用 (C) = 4, 112 百万円 ※

事業費: 3, 690 百万円

維持管理費: 422 百万円

総便益 (B) = 52, 869 百万円 ※

被害軽減便益: 52, 432 百万円

施設の残存価値: 437 百万円

費用便益比 (B/C) = 12.86

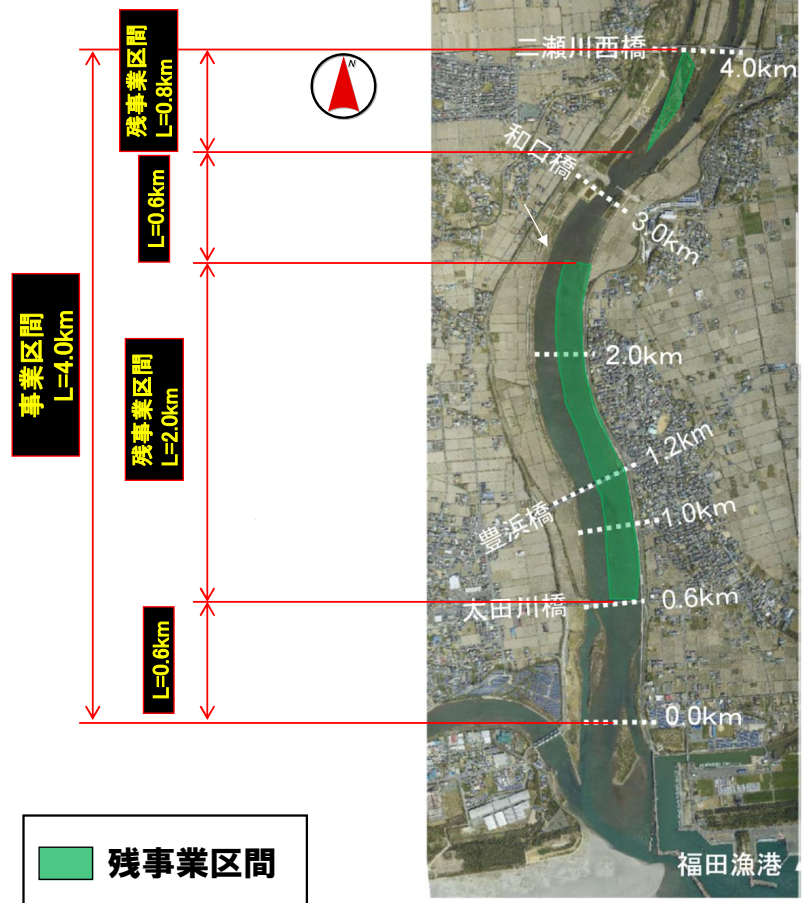
※令和8年換算価値

5. 事業の進捗状況

7

事業進捗率

全体事業費	16,860百万円
投資額	11,877百万円
事業進捗率	70%



6. 前回(R3再評価)からの変更点・理由

8

区 分	前回(R3)	今回(R8)	主な変更理由
①計画期間	H14～R7	H14～R15 (+8年)	令和4年台風第15号の異常出水後、レーザ測量を実施し、河道断面を評価したところ、下流区間で掘削を必要とする区間が確認され、掘削量が増えた。
②全体事業費	117億円	169億円 (+52億円)	このため、計画期間を延長する。 また、掘削量の増加、物価及び残土処分費の単価が上昇したため、全体事業費を増額する。

7. 今後の事業進捗の見込み

9

- 用地買収が完了しているため、引き続き河道掘削を実施し、計画的な事業進捗に努めることで早期の効果発現を図る。

8. 新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性

- 河道掘削による発生土について、他事業での活用を検討していく。

9. 対応方針(案)

- 本事業は、太田川流域の治水安全度を向上させ、浸水被害の解消を図るものである。
 - 費用対効果も見込まれ、住民の改修への期待は非常に大きく、地域の安全・安心に寄与することから、事業を継続して早期完成を図る。
-